

スノーラフティング 指導者チェックシート

1 事前打合せ

- 事前打合せに来所した際に、ネイパル団体対応職員との打合せ

(1) スノーラフティングコースの確認

(2) 安全対策についての確認

- ・トラブル発生時の連絡手段の取り方について
- ・指導者と団体引率者の役割について

※基本的にスノーモビルの運転はネイパル職員が行います。引率者の方は、搭乗体験の際の準備や注意喚起をお願いします。

2 準備について

- 服装・持ち物の確認（参加者活動前）

- ・活動に適した服装か（スノーウェア上下、帽子、手袋、ネックウォーマーなど）

- 緊急時の準備は万全か

- ・指導者（引率者）は携帯電話やトランシーバーなどの連絡機器を携帯したか

※トランシーバー（7台）については、ネイパルのものを貸出することが可能です。
なお、トランシーバーを使用する際は、1台につき単3電池×3本を団体で準備してください。

- ・簡易処置を行える救急セットの有無

3 中止判断（1時間前）

- 大雨，洪水，大雪，暴風，暴風雪警報，または注意報の確認

- 視界不良（20メートル先が見えない）になっていないか確認

4 確認事項および指導ポイント

《実施する上での確認事項》

- コースの確認（参加者がコースへ移動する前）

- ・コース上の氷塊，雪塊，木の枝など危険物を除去
- ・待機場所を設定し，目印（杭・蛍光テープ等）を確認

※待機場所は，その時の状況によりネイパル団体対応職員と協議して設定します。

《指導ポイント》

- ゴムボート搭乗までの指導

- ・乗車できるのは1組最大2人（高校生以上）～3人（幼稚園～小学生）まで
- ・待機場所での待ち方や注意事項の確認
- ・ゴムボートの乗り方についての指導（座り方，乗ってからの対応）
- ・ゴムボート周囲の緑ロープを握らない注意を徹底
- ・持ち手ロープの確認
- ・ヘルメットの着用及びストラップの確認
- ・ゴーグルの着用を徹底

5 活動終了後について

- ・参加者に体調不良者，けが人等がないか確認

6 その他活動実施上の留意点

- 指導者（引率者）は、参加者の実態や体力に即したプログラムであるか確認する上で、事前の下見や打合せなどの配慮が必要である。
- スノーモービルが走行中は、事故防止のためコース上に立ち寄らないように注意をしっかりと促す必要がある。
- 活動中は、引率者（指導者）間の連携を密にし、活動中の事故やけがの発生防止に努める必要がある。
- 活動中に天候状況が悪くなった場合は無理をせず、活動を継続するか団体対応職員と協議し、判断することが望ましい。